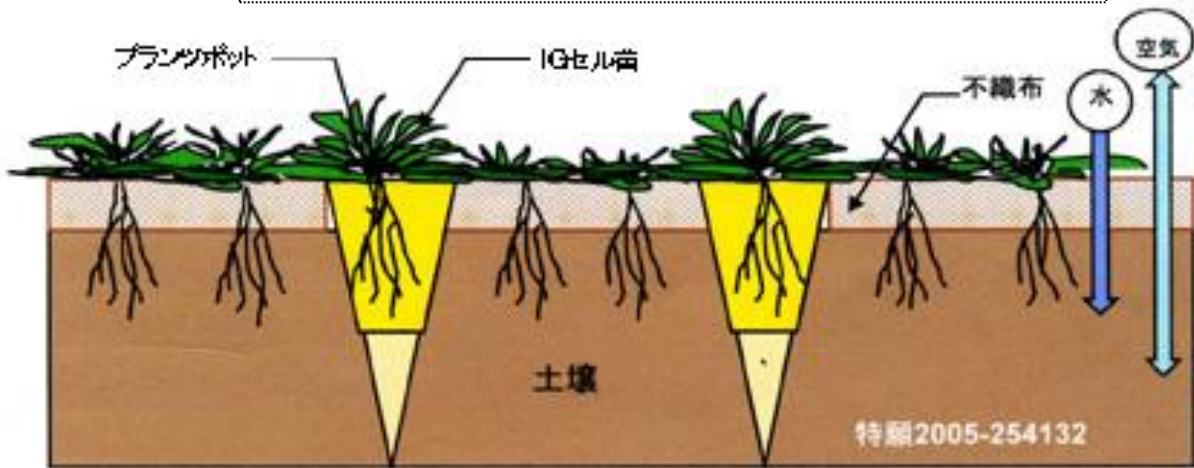


IGプランツポット環境緑化工法 全面緑化型



不織布に穴を開けた後 プランツポットでシートを固定します。

プランツポットに目的のセル苗を植え付けます。



09年6月25日

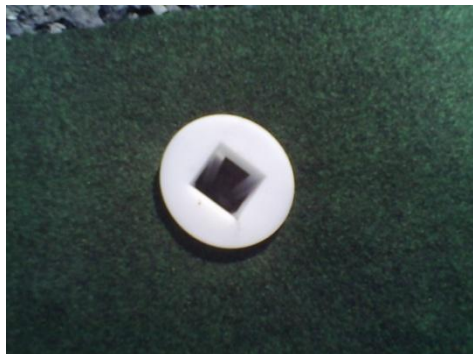


09年8月31日



IGセル苗を専用のプランツポットに定植し、ほふく茎(ランナー)が伸びて根が不織布を貫通します。
植物が繁茂する間を不織布が、雑草の発芽や育成を抑制します。

IGプランツポット環境緑化工法 ポイント緑化型



防草シートをプランツポットでシートを固定します。
継ぎ目は熱溶着処理しますのでシームレスです。



プランツポットに目的のセル苗を植え付けます。
部分緑化型推奨植物: ミドリレンゲ、キンソウ、マツバギク
ヤブラン 他 常緑植物



ミドリレンゲ



ポイント緑化イメージ



ロイヤルペパーミント

緑化用 IGセル苗

Current・カレント



- 草丈10～25cm程度だから
草刈の労力軽減
- アレロパシー効果で雑草を抑制
- 幅広い土壌適応性
(pH4.2～8.5)

Wind・ウインド



- 強い耐塩性(ハロファイト)
- 場所を選ばない耐冠水性
- 幅広い土壌適応性
(pH4.5～9.0)

畦畔緑化に革命を

ペニーロイヤル

- 低草丈、高い密集性で草刈作業労力の削減
- カメムシの好む雑草が生えにくくなる
- 開花後に伸張する茎が地面に張り付きマット状に



ミドリレンゲ(セダム)



部分緑化型に最適

- 耐暑・耐寒・耐湿・耐乾性
- 壁面緑化&屋上緑化に便利
- 刈り込み不要で管理手間軽減
- 種子をつけず、必要以上の進出なし

芝 Current



プラグ苗定植



3ヶ月後

Current (センチピート)の特徴

1. アレロパシー作用で雑草の発生や侵入を抑制する
2. 根が太くて深く伸び、法面の土壌をしっかりと保持するため土砂流失防止効果がある
3. 耐寒性が強く、米国では-23.5℃の低温まで耐えた例がある
4. 土壌への適応性が大きく、土壌pH4.2~8.5で生育できる。臨海埋立地での生育障害が極めて少ない
5. 雑草を抑制するので環境的に雑草花粉症を減少させる
6. 年間メンテナンス費用を大幅に削減する

◆環境抵抗性◆

項目 品種	耐暑性	耐寒性	耐旱性	耐湿性	耐陰性	耐塩性	耐踏圧性	耐冠水性	適応PH
Current	9	2	7	2	4	6	4	2	4.0~6.0
ティフトン	9	4	8	3	2	7	8	6	5.0~7.0
ハミューダ グラス	9	4	8	3	2	7	8	6	5.0~7.0
野芝	9	4	8	3	2	7	7	6	3.5~6.5

※評点:最大値
9(強) ~ 最小
値 1(小)

生産・販売元
株式会社イングス

本社
栃木県鹿沼市楡木町292
東京営業所
東京都港区赤坂9-1-7 赤坂RH419

芝 Wind IG-2 Seashore paspalum



驚異の③大特性

- ①常識を超えた耐塩性(ハロファイト)
- ②抜群の耐冠水性
- ③幅広い土壌適応性(PH4.5~9.0)

◆生育形態特性◆

区分	年生	草高	生育型	節間	茎径	茎伸長度	葉色	葉長	葉幅
暖地型	多年草	10~20cm	ほふく型	短い	ティフトンより弱冠太い	旺盛で 早い	濃緑 (ティフトン並)	短い (40mm前後)	細い(ティフトン並)

◆環境抵抗性◆

項目 品種	耐暑性	耐寒性	耐旱性	耐湿性	耐陰性	耐塩性	耐踏圧性	耐冠水性	適応PH
wind	9	4	9	9	6	9	8	9	4.5~9.0
ティフトン	9	4	8	3	2	7	8	6	5.0~7.0
パミュータ グラス	9	4	8	3	2	7	8	6	5.0~7.0
野芝	9	4	8	3	2	7	7	6	3.5~6.5
センチピート(ティフレア)	9	2	7	2	4	6	4	2	4.0~6.0

※評点:最大値
9(強) ~ 最小
値 1(小)

◆メンテナンスポイント◆

- ◇発芽期~初期成育期間中は、こまめに散水をお願いします。
(全面有孔ポリマルチ被覆による養生も可能です。)
- ◇初期成育は他の暖地型草種に比べて早く、最初の刈り込みは、3cm以上を目安に行ってください。
- ◇刈り高は、用途や時期にもよりますが1.5~4.0cmが適当です。(夏期は高目にしてください)
- ◇目砂と施肥は春と秋の更新作業時には必ず行って下さい。(目砂:2~4mm、施肥:N素2.5g/100㎡)
- ◇冬季(休眠期)のターフコンディション維持の為のウインターオーバーシーディングも有効です。

生産・販売元
株式会社イングス

本社
栃木県鹿沼市楡木町292
東京営業所
東京都港区赤坂9-1-7 赤坂RH419

グランドカバープランツによる畦畔管理技術

グランドカバープランツとは？

畦畔被覆植物。ほふく性の草丈の低い植物が密生することで、草刈作業労力の削減、カメムシの好む雑草が生えにくくなる等の効果を狙って植栽するものです。

ここでは、ペニーロイヤルミントを使った畦畔管理技術と取り組み事例を紹介します。



ペニーロイヤルミント

植え付け翌年の7月



「高松地域活動協議会」の植栽作業

水田畦畔への
導入事例

上山市高松地区では、カメムシ対策の一つとして畦畔にミントを植栽し、畦畔の草種転換に取り組んでいます。19年度からは、協議会を立ち上げ、農地水環境保全向上対策事業の一環として、農道、畦畔管理にミントを活用しています。

整備後法面への植栽

植え付け翌年の様子



8月に開花

ほ場整備後の農道法面へ10月末にミントの苗を植栽し、翌年6月の様子。越冬後は株立ちし開花。8月の開花後に伸長する茎は、地面に張り付き横に伸び、マット状に広がります。

ペニーロイヤルミントの生育と畦畔管理の流れ

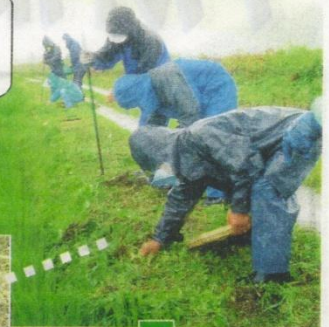


約40日間育苗

苗作り



7月上旬
梅雨に合わせて
水田畦畔に定植



7月

草刈りしないと7月に開花し、
9月に採種可。開花後は地際に
繁茂してくる。

20~30cm間隔の千鳥植え



10日後



稲刈り前には刈り込む。
その後も、
周りのイネ科
雑草が枯れても、
伸長する。



雑草の下で繁茂



6月

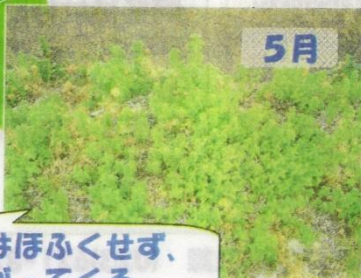


7月

6月に草刈り
をすると被覆
が早い!

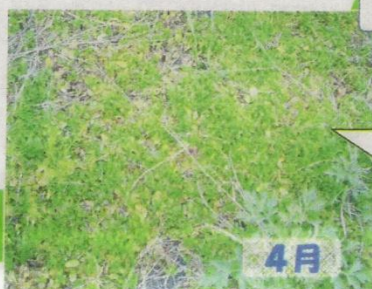


9月頃 マット状



5月

越冬後はほふくせず、
立ち上がってくる。



4月



雪の下で越冬

翌春、雪解け
後は、再生し
てくる。



待望の緑化植物登場

ミドリレンゲ®

耐暑・耐寒・耐湿・耐乾性の抜群に優れた植物

- ・刈込み不要、年1回程度の除草で省管理
- ・1カ月程度の無降水にも耐える生命力
- ・種子を付けないため、必要以上の進出が防げる



● 名称・科目 ミドリレンゲ *Sedum confusum* (ベンケイソウ科)

● 特徴

葉色 夏期…緑 / 冬期…オレンジがかった黄緑

花期 5月半ば～6月半ば

耐乾性・耐寒性・耐湿性 強

*氷点下3°Cにも耐える

草丈10～15cm

● 管理 省管理の実現

ミ ● 刈込み不要

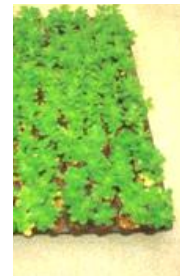
適 ● 年2回程度の除草

管 ● 年1回程度の施肥(化成肥料14:14:14 50g/㎡)

・乾燥を好む植物です。2週間程度無降雨の場合灌水して下さい



IGマット 250x250x40 サイズは変更される場合があります。



IGセル苗 128セル
セル数は変更される場合があります。

製品仕様

- ・IGセル苗
- ・IGマット
- ・トレイ工法(折半屋根/陸屋根)

1箱



夏季



冬季

生産・販売元
株式会社イングス

本社
栃木県鹿沼市楡木町292
<http://www.ings.ne.jp>

東京営業所
東京都港区赤坂9-1-7 赤坂RH419